

～テーマ～  
《街路樹について》



『杜の都』 チーム

## 1 街路樹の歴史

### (1)【世界】

- 世界で最も古い街路樹は、約3000年前にヒマラヤ山麓に造られた街路、グランド・トランク・ロードに列植された樹木
- グランド・トランク・ロードは、インドのカルカッタ（コルカタ）からアフガニスタン国境につながる幹線街路
- 一部に石が敷かれ、道の左右と中央に樹木が列植された。
- 中国では約2500年前の周時代には、すでに壮大な街路樹や並木が造られた。

《神功皇后》

(じんぐう)

第14代仲哀天皇の皇后（ちゅうあい）  
約70年間君臨  
卑弥呼との説あり

《瓶達天皇》30代

(びだつ)

在位 572年～585年

### (2)【日本】

- 神功皇后が豊浦宮へ行幸、駅路を定めた際にクスノキを植えて作られた並木が初の街路樹とされるが、正確な時期や場所は特定されていない。
- 6世紀後半の敏達天皇の治世に、難波（なにわ）の街路にクワの並木を作ったとされる。
- 8世紀半ばの聖武天皇の治世には、平城京にタチバナとヤナギの並木が作られた。
- 光明皇后は貧しい人が飢えないよう、都大路にモモとナシの木を植えて並木道にしたと言われる。
- 754年、（天平勝宝6年）に帰朝した遣唐使の僧・普照は、唐の諸制度とともに、並木・街路樹の状況も奏上した。  
「道路は百姓が絶えず行き来しているから、樹があればその傍らで休息することができ、夏は暑さを避け、飢えれば果樹の実を探って食べることができる」と。
- 759年（天平宝字3年）太政官符で畿内七道諸国駅路の両辺に果樹となる並木・街路樹の植栽を決めた。  
（「応幾内七道諸国駅路両辺葉樹事」という法令）
- これが、日本における行政主導の街路樹のはじめ。
- 8世紀後半の桓武天皇の治世には、平安京にはヤナギとエンジュが約17m間に植えられ、地方にも果樹の並木が植栽された。
- 鎌倉時代にはサクラ、ウメ、スギ、ヤナギの並木が植えられた。
- 戦国時代には、織田信長が旅人の安全、快適な交通を確保するために並木道を作ったと言われる。
- 江戸時代には、五街道などの道路網が整備され、マツ、スギ、ケヤキなどが植えられた。
- 街道には並木、1里ごとに一里塚が造られ、距離の目印、休憩場所として利用されるようになった。
- 市街地の川沿いの道などにはヤナギやマツが植えられた。  
日光杉街道には、約12,500本が現存し、ギネス世界記録に認定されている。
- 幕末の開国後、1867年（慶應3年）横浜市の馬車道にヤナギとマツが植えられた。
- 1979年、横浜市は馬車道に石碑「近代街路樹発祥之地」を建てた。

《聖武天皇》45代

(しょうむ)

在位 724年～749年

《光明皇后》

(こうみょう)

聖武天皇の皇后

《僧・普照》

(ふしょう)

733年～754年に唐東大寺に住し、旅人の飢えをいやすため京外の街道に果樹を植えることを奏上

《桓武天皇》50代

(かんむ)

在位 781年～806年

《鎌倉時代》

1185年頃～1333年

幕府が鎌倉に。本格的な武家政権による統治が開始

《戦国時代》

1467年～1615年

「応仁の乱」から「大阪夏の陣」まで江戸幕府を開く

## ① 明治・大正

- 東京の都市緑化事業は、1874年（明治7年）銀座通りにサクラとクロマツが植えられたことから始まった。
- 1884年（明治17年）木の成長が悪く、シダレヤナギに植え替えられた。
- 1906年（明治39年）に、林学博士・白沢保美と園芸の専門家・福羽逸人（ふくはいつせん）に街路樹改良計画を依頼。
- 1907年（明治40年）、それまで植えていたヤナギやサクラから、近代都市にふさわしい街路樹を新たに選び、植栽。
- ①イチョウ ②プラタナス ③ユリノキ ④アオギリ ⑤トチノキ ⑥トウカエデ  
⑦エンジュ ⑧ミズキ ⑨トネリコ ⑩アカメガシワ
- ①～⑦は外来種 ⇒ 街路樹の基本となった。
- ⑧～⑩は在来種 ⇒ 生育が悪かったので、実際にはほとんど植えられなかった。
- 現在の街路樹の元となり、今まで継承される樹種の基本となった。
- 明治神宮外苑に植えられたイチョウ並木のように、建物（聖徳記念絵画館）と組み合わせた景観を計算された街路樹を整備する取り組みも行われた。

## ② 昭和

- 戦争中は空襲等で街路樹は減少、戦後、増加、60年で約20倍に、時代とともに「はやりすたり」があり、樹種にも変化ができた。
- イチョウやサクラ類は昔も今も変わらず。
- 以前は上位だったが、今は下位になった樹種は、プラタナス、外来ポプラ類、シダレヤナギ、ニセアカシヤ
- 成長が早く剪定コストがかさみ、根が浅いので歩道の舗装を持ち上げ、強風で倒れやすい
- ハナミズキが急激に増加

## 2 街路樹の現状

ランク	全体		国県道		市道	
	樹種	本数	樹種	本数	樹種	本数
1	ケヤキ	2,673	イチョウ	1,140	ケヤキ	2,317
2	イチョウ	1,892	サザンカ	660	サクラ	1,399
3	サクラ	1,587	クスノキ	554	イチョウ	752
4	クスノキ	1,014	クロガネモチ	533	トウカエデ	598
5	クロガネモチ	926	キンモクセイ	495	ハナミズキ	487
6	ハナミズキ	830	ベニカナメモチ	486	クスノキ	460
7	サザンカ	711	ケヤキ	356	クロガネモチ	393
8	トウカエデ	607	ハナミズキ	343	コブシ	330
9	キンモクセイ	564	サンゴジュ	210	モミジバフウ	198
10	コブシ	538	コブシ	208	イヌマキ	192

表-2 高中木本数順位

《高中木本数順位》

第1期 熊本市域  
街路樹再生計画

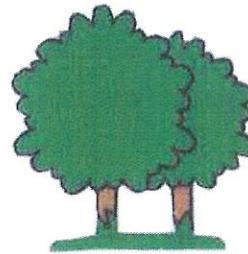
### 3 街路樹マップ

市街地街路樹マップ

まちなか

街路樹ガイド

- 1 並木坂通り
- 2 オークス通り
- 3 遠町筋
- 4 篠町通り
- 5 三年坂通り
- 6 城見町通り
- 7 銀座通り
- 8 下通アーケード
- 9 シャワー通り



令和 3 年 12 月

作成：チーム杜の都

(土持・内田・澤田・奈良・鳥越)

## ウォークイングしてみませんか

並木坂通り

樹木数: 34本

樹種: モミジバフサ・ヤマモミジ・  
ヤマモモ・コブシ・ヤマボウシ・  
エゴノキ・ヤヤキ・ナンキンハゼ・  
ハナミズキ

ピンクリボン: 誰當なし

コメント: ①

オークス通り

樹木数: 16本

樹種: クスノキ

ピンクリボン: 誰當なし

コメント: ②

城見町通り

樹木数: 18本

(別途13本あり)

樹種: ケヤキ

ピンクリボン: 誰當なし

コメント: ⑥

通町筋

樹木数: 32本

樹種: ケヤキ

ピンクリボン: 17本  
(内性器決定 8本)

コメント: ③

銀町通り

樹木数: 6本

(桜)23本

樹種: ケヤキ・モミジ・  
サザンカ・ツツジ

ピンクリボン: 誰當なし

コメント: ④

三年坂通り

樹木数: 14本

樹種: ケヤキ

ピンクリボン: 誰當なし

コメント: ⑤

下通アーケード

樹木数: 16本

樹種: シマツネコ

ピンクリボン: 誰當なし

コメント: ⑧

サンロード新市街

シャワー通り

樹木数: 28本

樹種: モミジバフサ・ケヤキ・  
トチノキ・ハナミズキ・  
ヤマモミジ・コブシ・  
オリーブ

ピンクリボン: 誰當なし

コメント: ⑨

## コメント① 並木坂通り

位置情報： 熊本市上通リアーケード街の終点からさらに北に延びている通りです。

樹木解説： 1.モミジバフウ【フウ科フウ属】 落葉高木

アメリカバフウとも呼びます。秋になると紅葉がとても綺麗な木です。

とげとげとした面白い形の木の実をつけるものもある。

【害虫】 この樹木にかかりうる病気は特になし、注意すべき害虫もいませんが、アカオビアザミウマがつくこともある。

2.ヤマモミジ【カエデ科カエデ属】 落葉高木

イロハモミジ、オオモミジとともに日本のカエデを代表する樹種で新緑や紅葉の美しさを楽しめる。

【害虫】 アブラムシ、カイガラムシなどに要注意。

3.ヤマモモ【ヤマモモ科ヤマモモ属】 常緑高木

熟した果実はアマ酸っぱく生食やジャムして食用。

乾燥した樹皮を楊梅皮(ようばいひ)と呼び薬用となる。

【害虫】 ハマキムシが発生しやすい。

4.コブシ【モクレン科モクレン属】 落葉高木

早春、他の木々に先がけ白い花を咲かせる。冬が明ける合図となる花

【害虫】 コブシバチの幼虫で、ハバチは人を刺さないおとなしいハチです。コブシの葉を激しく食害します。

5.ヤマボウシ【ミズキ科ミズキ属】 落葉高木

春には花、夏にはみずみずしいグリーン、秋には果実と紅葉、一年を通して楽しめる樹木です。

【害虫】 葉にはイラガ、アメリカシロヒトリ。枝にはテッポウムシ、シャクトリムシなどに注意。

6.エゴノキ【エゴノキ科エゴノキ属】 落葉高木

別名:ロクロギといい、シンボルツリーとして人気あり。

エゴノキの実の果皮には、エゴサポニンという有毒成分が含まれている。

食べておいしくないので、間違っても食べないようにしましょう。

【害虫】 カイガラムシ、カミキリムシ、テッポウムシなどに注意。

7.ケヤキ【ニレ科ケヤキ属】 落葉高木

別名:ツキ(古代において強い木を意味する)といい、山地や丘陵に自生。

ケヤキには、「目立つ、ひとりわすぐれている」という意味がある。

【害虫】 ヤノナミガタチビタマムシは、樹勢を衰えさせ、弱ったケヤキなどは注意が必要。

### 8.ナンキンハゼ【トウダイグサ科ナンキンハゼ属】落葉高木

並木坂の樹木はアメリカ産の落葉高木が植えられている。

【害虫】ヒロヘリアオイラガの幼虫、カキノキやバラ科に多く発生する。

別名(イラムシ)という。幼虫に触れると激しい痛みが走り、「デンキムシ」の由来である。

### 9.ハナミズキ【ミズキ科ミズキ属】落葉高木

別名:アメリカヤマボウシという。

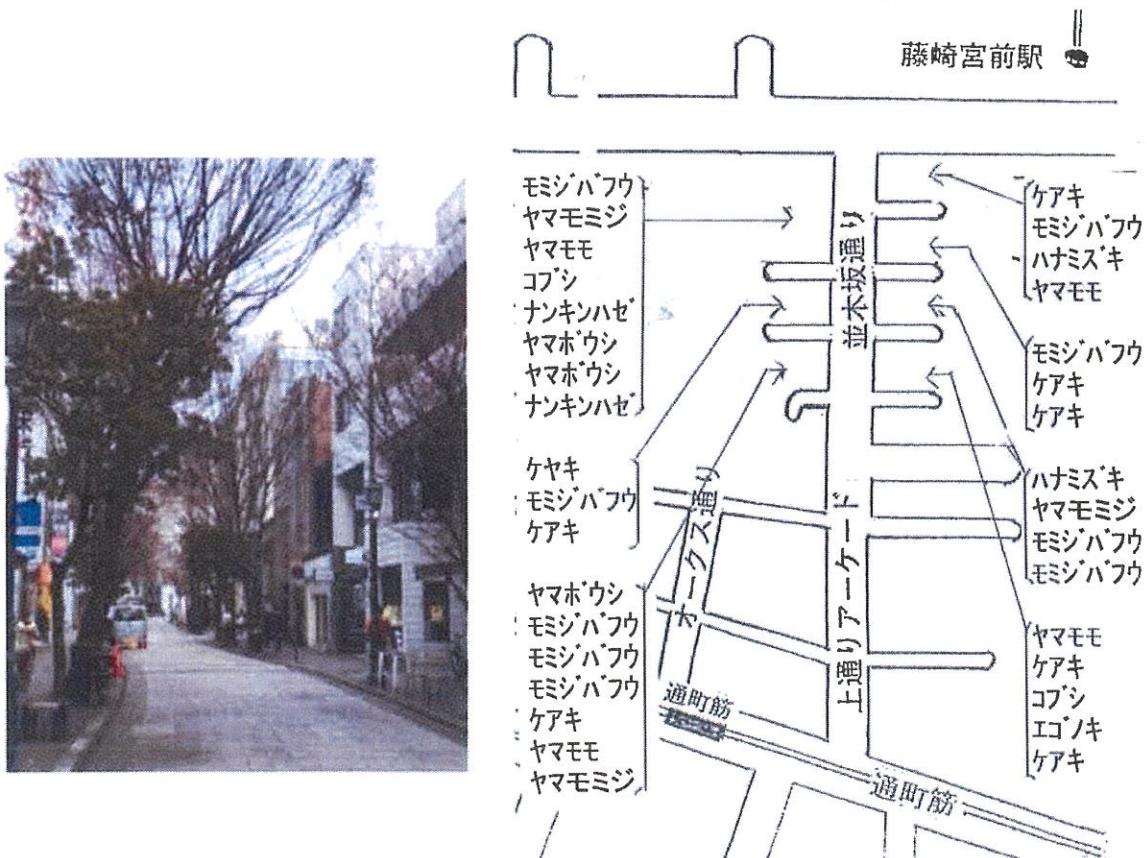
大正時代に、さくらの苗木をアメリカへ贈った返礼として、ハナミズキが贈られた。

【害虫】コウモリガやアメリカシロヒトなどに注意。

現況解説: 街路樹はいろいろと樹種が混在し、並木坂通りは、おしゃれな店が多い。

毎年、10月に【坪井恵比須神社の大祭】が開催され、落ち着いた石畳みの通り、ワゴンセールや縁日コーナーなどで楽しむ買い物客でにぎわう。

街路樹の配置図:



### コメント② オークス通り

位置情報： アーケードの裏手にある通りです。

大きなクスノキの並木とレンガの歩道沿いにブティックなどの店が並んでいます。

樹木解説： 1.クスノキ【クスノキ科ニッケイ属】常緑高木

別名:クス 古くから神社の境内などに植えられ、巨樹や老樹となり、天然記念物に指定されたものも多い。

熊本県立第一高等女学校時代の明治41年(1908年)10月戊申詔書(ぼしんしょうしょ)発布の記念事業として運動場に植えられたクスノキが大きくなつたもの。

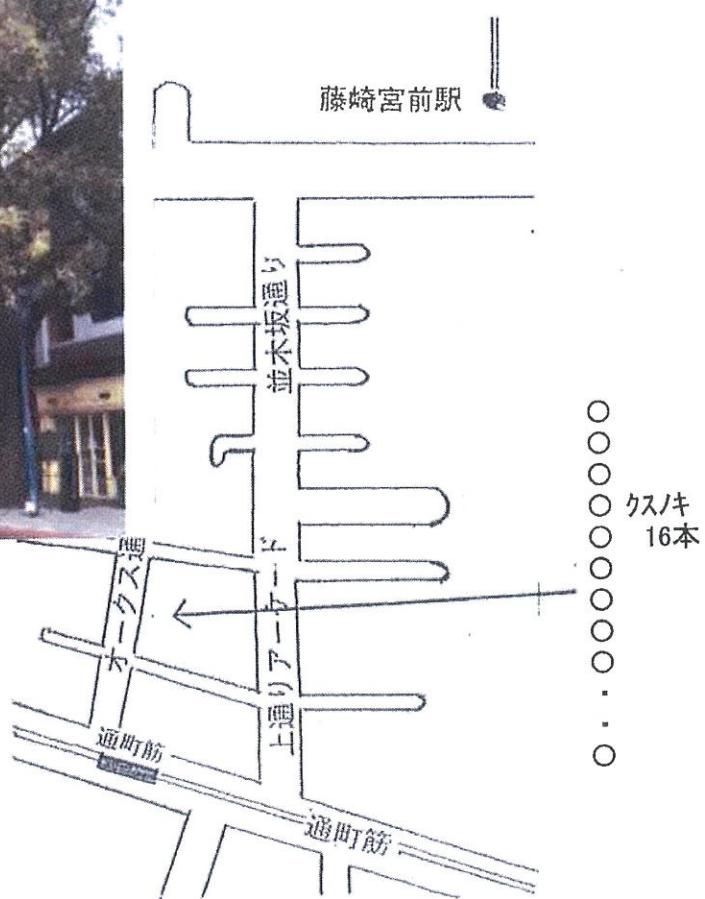
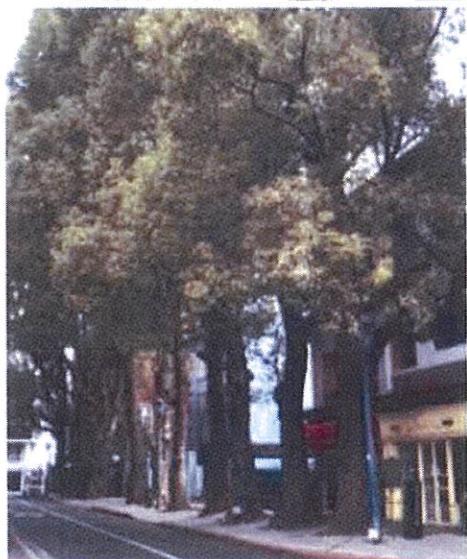
【害虫】中国から侵入した外来昆虫種クスベニヒラタカスミカメに要注意。

国内で発見されて間もない為、適用薬剤開発中。

現況解説： クスノキの巨木(巨大な幹)が 16 本並んでいます。

景観もよく、すごく落ち着いたいい雰囲気の街路樹です。

## 街路樹の配置図:



### コメント③ 通町筋

位置情報： 熊本県熊本市にある通りの名称で、熊本県道 28 号熊本高森線の日本郵政九州支社付近から水道町交差点までの愛称であり、上通りと下通りの間を市電、路線バスが走っているところです。

樹木解説： 7. ケヤキ【ニレ科ケアキ属】 落葉高木

別名：ツキ(古代において強い木を意味する)といい、山地や丘陵に自生。

ケアキには、「目立つ、ひときわすぐれている」という意味がある。

【害虫】 ヤノナミガタチビタマムシは、樹勢を衰えさせ、弱ったケヤキなどには注意が必要。

現況解説： 現在 32 本のケヤキの樹木があるが、その内 17 本にピンクリボンがまかれている。(ピンクリボンとは、倒木の危険性があると予測された伐採予定の樹木にまかれたピンク色の紐のこと。)

この度、熊本市街路樹再生計画策定委員会にて、令和 3 年 6 月該当する街路樹の伐採計画を中断することになったが、同年 11 月に同委員会が開かれ、樹木医の診断の元、倒木の危険性がある樹木のみの伐採が決まった。

残念ながら、ピンクリボンがまかれた 17 本のうち 8 本が伐採されることになった。

街路樹の配置図



#### コメント④ 鶴町通り

位置情報： 通町筋の鶴屋百貨店とパルコ熊本店の間から銀座通りとの交差点までの通りです。  
加藤清正の時代、この一帯が藩主とその一門の面々を載せて運ぶ御駕籠衆の居住地でしたから、俗に御駕小路とか駕丁と呼ばれていた。

樹木解説： 1.ケヤキ【ニレ科ケアキ属】落葉高木

別名：ツキ(古代において強い木を意味する)といい、山地や丘陵に自生。

ケアキには、「目立つ、ひときわすぐれている」という意味がある。

【害虫】 ヤノナミガタチビタマムシは、樹勢を衰えさせ、弱ったケヤキなどには注意が必要。

2.モッコク【モッコク科モッコク属】常緑高木

別名：イイクと呼ばれ、モチノキやマツと並び「庭木の王」と称される。

【害虫】 風通しが悪くなるとハマキムシが発生する

3.サザンカ【ツバキ科ツバキ属】常緑広葉樹

別名：オキナワサザンカとも呼ぶ。童謡「たきび」の歌詞に登場する。

【害虫】 チャドクガに要注意。皮膚に接触すると炎症をおこし、痒くなる。

4.ツツジ【ツツジ科ツツジ属】半常緑性低木

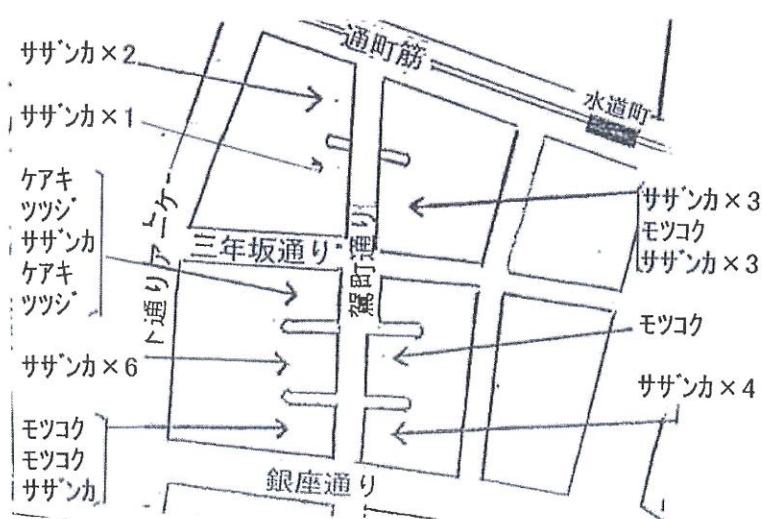
ツツジの名は、一般的には、サッキを除く、半常緑性のヤマツツジの仲間を総称として使われるが、落葉性のレンゲツツジや常緑性で葉にうろこ状の毛があるヒカゲツツジなどを加えることもある。

【害虫】 ツツジゲンバイは、ツツジの主要害虫とされている。

現況解説： 街路樹の本数が、高木、低木ともに少なく、景観が乏しい。

残念ながら、害虫(カイガラムシ)に侵されている樹木(モッコク)1本ありましたので、  
街路樹を管理する土木部 道路保全課へ連絡し、早速、当樹木を駆除処理(消毒)  
しますとの解答をいただきました。

街路樹の配置図



## コメント⑤ 三年坂通り

位置情報：籠町通りと下通りをつなぐ緩やかな坂道で、ツタヤ書店がある通りです。

名前の由来は、「川に向かう坂なので水戸瀬(みとせ)=3年」などの説がある。

樹木解説： 1.ケヤキ【ニレ科ケアキ属】 落葉高木

別名：ツキ(古代において強い木を意味する)といい、山地や丘陵に自生。

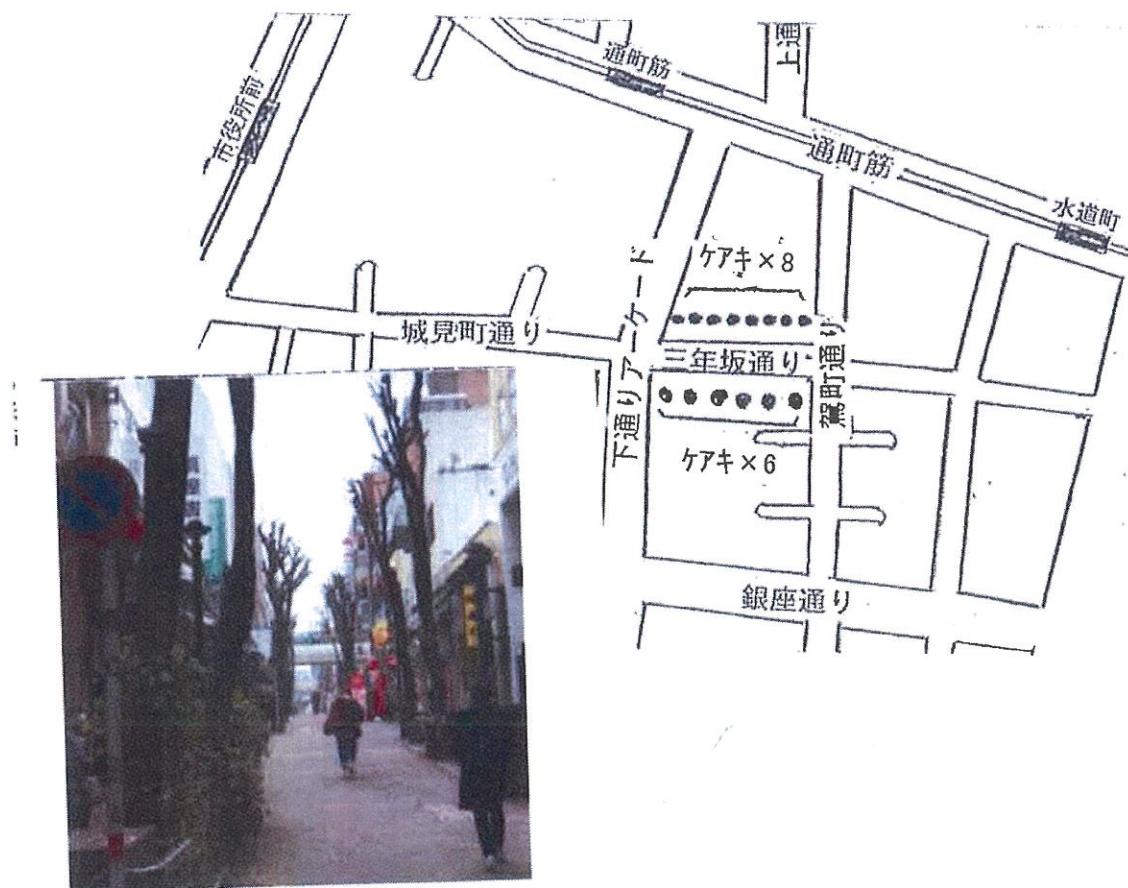
ケアキには、「目立つ、ひとりわすがれている」という意味がある。

【害虫】 ヤノナミガタチビタマムシは、樹勢を衰えさせ、弱ったケヤキなどには注意が必要。

現況解説： 三年坂通りから城見町通りに続く街路樹ケヤキの並木は、景観が非常に落ち着いた雰囲気を感じさせます。

剪定時には、強剪定にならないよう十分注意が必要。

街路樹の配置図



## コメント⑥ 城見町通り

位置情報： 市庁舎通りからCOCOSAを挟んで、反対側の通りです。

明治時代には、陸軍の歩兵第23連隊があり、熊本城の天守がきれいに見通せたそうです。

下通りを隔てた三年坂と合わせて、下通りで唯一の街路樹が並ぶ通りです。

樹木解説： 1.ケヤキ【ニレ科ケアキ属】 落葉高木

別名：ツキ(古代において強い木を意味する)といい、山地や丘陵に自生。

ケアキには、「目立つ、ひときわすぐれている」という意味がある。

【害虫】 ヤノナミガタチビタマムシは、樹勢を衰えさせ、弱ったケヤキなどには注意が必要。

現況解説： 三年坂通りから城見町通りに続く街路樹、ケヤキの並木は、景観が非常に落ち着いた雰囲気を感じさせます。

剪定時には、強剪定にならないよう十分注意が必要。

街路樹の配置図



## コメント⑦ 銀座通り

位置情報： 下通りの中心を横断する通りで、人の往来も多い通りです。

名前の由来は不明です。かつては、武家の住んでいた土地、大空襲で大きな被害を受け、その後、整理されたそうです。

(なお、全国的に東京の銀座にあやかって「銀座通り」と付けられた通りは多い。)

樹木解説： 1.イチョウ【イチョウ科イチョウ属】落葉高木

別名：ギンキョウ、ギンナン、ギンナンノキとも呼ばれる。

古くから各地の寺院や神社の境内に植えられ、巨大化となっているものもある。食用、漢方、材用としても栽培される。

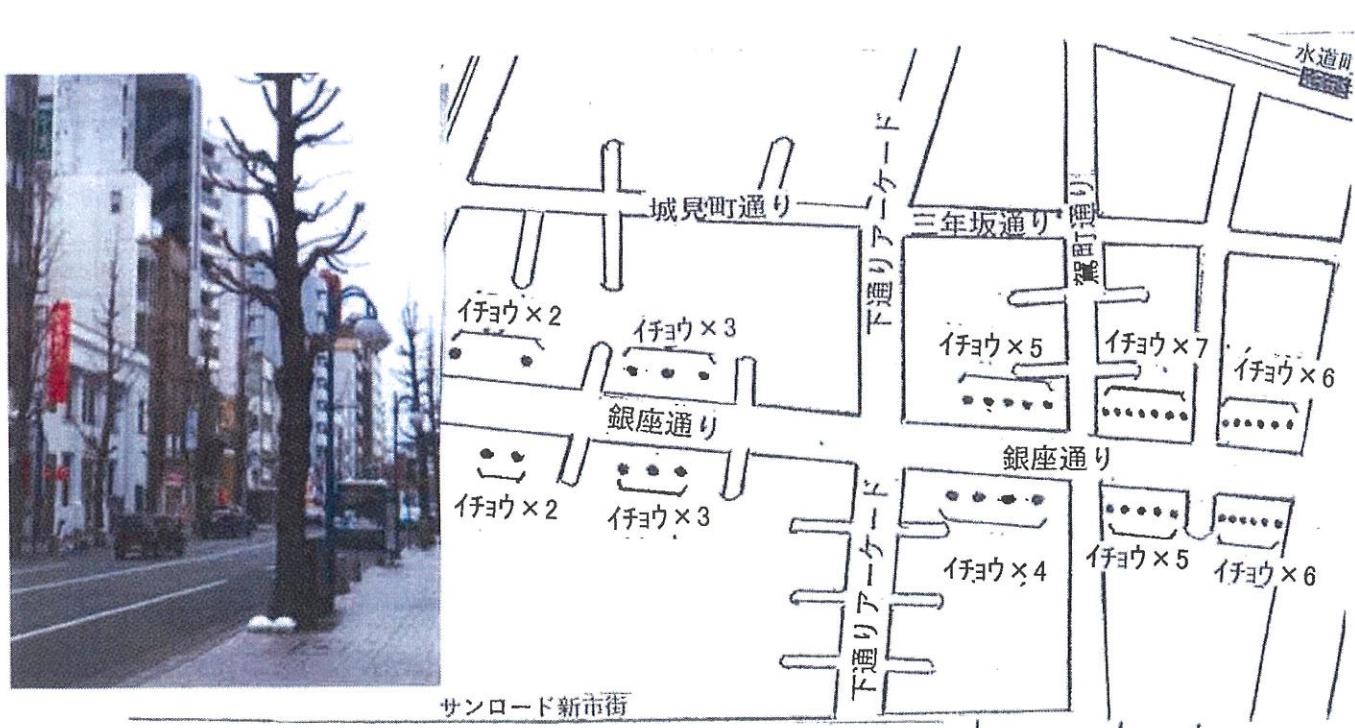
【害虫】クスサン、コウモリガ、ビロウドカミキリなどに要注意。

現況解説： 街路樹の強い剪定が、景観を悪くしている。

強い剪定は、樹木自体を弱らせるため、今後の剪定に十分注意が必要。

現在の銀座通りの街路樹は、非常に寂しい景観です。

街路樹の配置図



## コメント⑧ 下通りアーケード

位置情報： 西日本最大規模の高層アーケード街(全長511m、幅 15m、高さ 10m)

アーケード商店街の中に樹木が植えられた大変珍しい街路樹です。

樹木解説： 1.シマトネリコ 【モクセイ科トネリコ属】 常緑高木

別名：タイワンシオジともいう。「シマトネリコ」の「トネリコ」は、「戸に塗る木」が語源。

病害虫に強いと言われている樹木でも害虫がつきます。

【害虫】ハマキムシ、シマケンモンの幼虫、スズメガの幼虫などに注意。

現況解説： 樹木のわきに、おしゃれなベンチが設置され、また、樹木の枝には、イルミネーションの飾り付け等がされ、快適な自然空間を演出している。

この樹木は、樹液が豊かで樹皮が柔らかいため、カブトムシが集まる樹木(クヌギが有名であるが……)でも知られている。

シンボルツリーとして人気がある庭木で、とても丈夫で育てやすい反面、生長がはやい。よって定期的に剪定が必要。

街路樹の配置図



## コメント⑨ シャワー通り

位置情報：下通りから南に伸びる通りです。

アーケードがなく、晴れの日には街路樹の間から木漏れ日が、雨天の日には、雨がシャワーのように振り注ぐため、この名称がついた。

樹木解説： 1.モミジバフウ【フウ科フウ属】 落葉高木

アメリカフウとも呼びます。秋になると紅葉がとても綺麗な木です。

とげとげとした面白い形の木の実をつけるものもある。

【害虫】 この樹木にかかりうる病気は特になし、注意すべき害虫もいませんが、アカオビアザミウマがつくこともある。

2.ケヤキ【ニレ科ケアキ属】 落葉高木

別名：ツキ(古代において強い木を意味する)といい、山地や丘陵に自生。

ケアキには、「目立つ、ひときわすぐれている」という意味がある。

【害虫】 ヤノナミガタチビタマムシは、樹勢を衰えさせ、弱ったケヤキなどは注意が必要。

3.トチノキ【トチノキ科トチノキ属】 落葉高木

樹木は、楽器材に利用される。

【害虫】 クスサン、トチノキヒメヨコバイなどに注意

4.ハナミズキ【ミズキ科ミズキ属】 落葉高木

別名：アメリカヤマボウシという。

大正時代に、さくらの苗木をアメリカへ贈った返礼として、ハナミズキが贈られた。

【害虫】 コウモリガヤやアメリカシロヒトなどに注意。

5.ヤマモミジ【カエデ科カエデ属】 落葉高木

イロハモミジ、オオモミジとともに日本のカエデを代表する樹種で新緑や紅葉の美しさを楽しめる。

【害虫】 アブラムシ、カイガラムシなどに要注意。

6.コブシ【モクレン科モクレン属】 落葉高木

早春他の木々に先がけ白い花を枝一杯に咲かせる。

冬が明ける合図となる花。

【害虫】 コブシハバチの幼虫で、ハバチは人を刺さないおとなしいハチです。コブシの葉を激しく食害します。

## 7.オリーブ【モクセイ科オリーブ属】 常緑高木

実が食用油の原料や食用になる。

葉っぱの様子や樹形が美しく、インテリアとして人気のある樹木です。

【害虫】最も手ごわい害虫オリーブアナアキゾウムシ。ほかにハマキムシ、スヌメガ等が要注意。

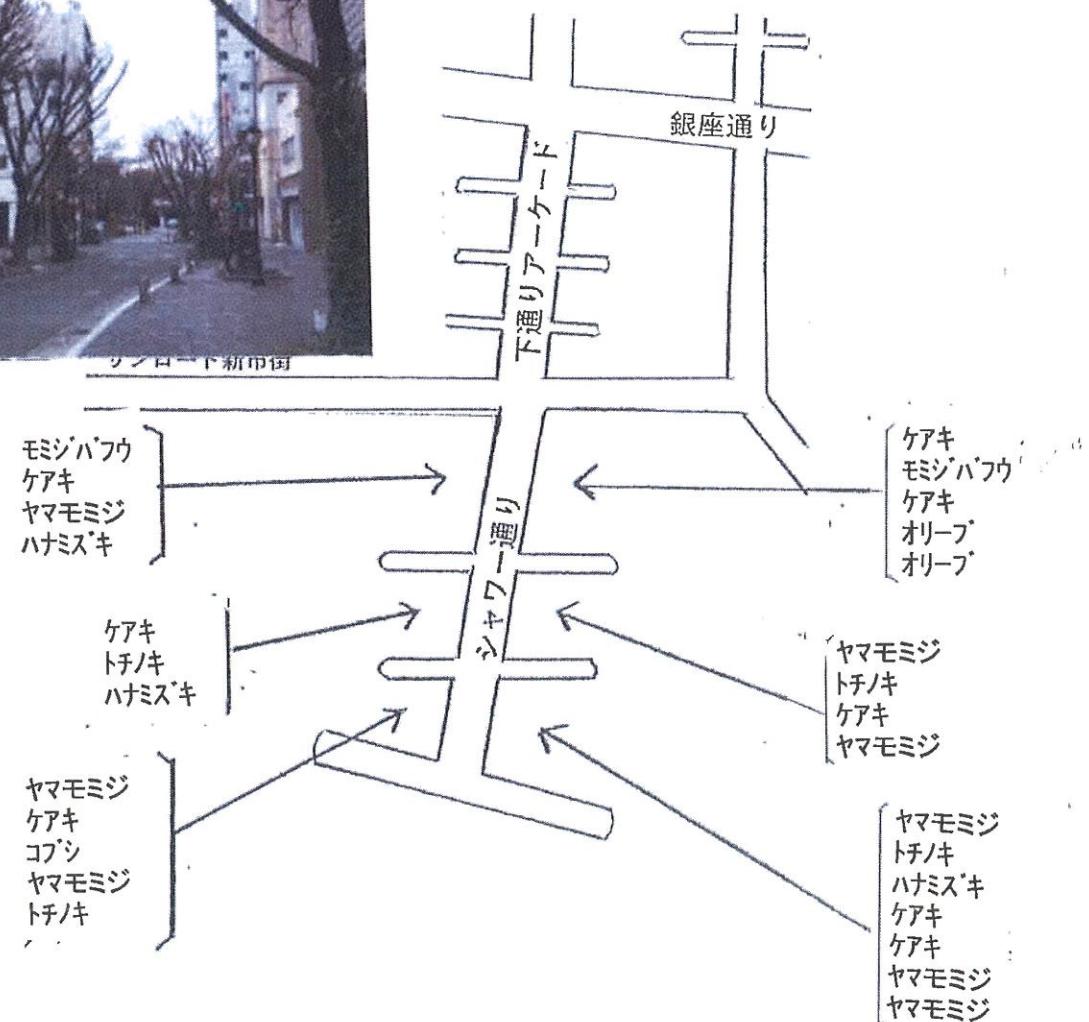
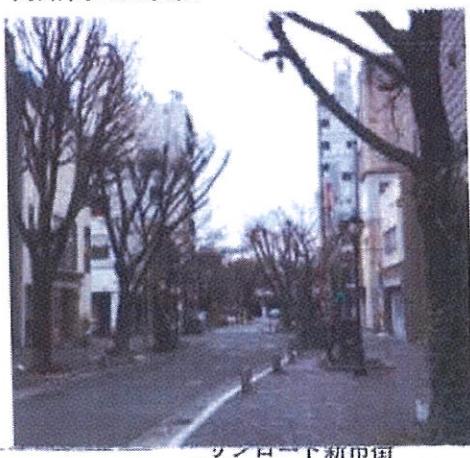
現況解説： 街路樹の樹種が多い。

お洒落なブティックやカフェ、雑貨店が立ち並び石畳の歩道に設置されたテーブルでくつろぐ姿も見られる。開放感あふれる通りです。

しかし、強い剪定の樹木がひとりわ目立ち、昼間の景観整備が乏しい。

なおクリスマス時期のイルミネーションは必見です。

街路樹の配置図



## 4 街路樹のメリット・デメリット

### (1)【メリット】

#### ① 景観向上

- ・良好な景観の形成
- ・美しい並木道の造成
- ・街、通りのシンボル・ランドマーク
- ・スクリーン効果

#### ② 緑陰形成

- ・直射日光を遮る
- ・暑さを防ぐ、冷房費などの軽減
- ・降雪を防ぐ
- ・強風を抑える
- ・砂塵を防ぐ
- ・雨を防ぐ

#### ③ 生活環境保全

- ・騒音の低減
- ・大気の浄化 (ヒートアイランド現象の緩和)

#### ④ 交通安全

- ・眩しさを遮る
- ・前照灯の影響を防ぐ
- ・支柱、ガードレール効果  
(歩道と車道の分離、識別の補助) (路上駐車防止)

#### ⑤ 自然環境保全

- ・土壤の浸食を防ぐ

#### ⑥ 防災

- ・飛砂を防ぐ
- ・吹雪を防ぐ
- ・火災の延焼を防ぐ

#### ⑦ 経済効果

- ・植栽、剪定等の請負業者が潤う
- ・簡単な剪定や落葉樹の枯葉の清掃はシルバー人材の活用先に

#### ⑧ 二酸化炭素の吸収

- ・二酸化炭素の吸収の検討は、植栽及び維持、管理によって、排出される分を考慮しなければ意味がない。

#### ⑨ カーボンニュートラル

- ・葉面積 1m<sup>2</sup>に対し、1年間に吸収するCO<sub>2</sub>の量は、2.6kg
- ・樹木 1本の葉面積は推定約1,000m<sup>2</sup>として
- ・1年間で、2,600kgのCO<sub>2</sub>を吸収する (2.6kg × 1,000kg)

#### ⑩ 大気汚染緩和の役割

- ・健やかに成長した樹木は木陰で涼をもたらす
- ・多くの二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を吸収し体内に固定
- ・温暖化対策にもつながる

《スクリーン効果》

目隠し効果

《ヒートアイランド》

都市の気温が周囲  
より高くなる現象  
高温域が都市を  
中心に島のような  
形状に分布する。

〈影響は?〉

健康面は熱中症  
環境面は蚊の越冬

〈要因は?〉

人口被覆域  
(アスファルト  
コンクリート等)

日射による熱の  
蓄積が多く、温まり  
にくく、冷えにくい。  
夜間の気温低下を  
妨げる。

都市の産業、活動  
人口集中。

〈地球温暖化との  
違いは?〉

気温の上昇は同じ  
人工的な構造物や  
排熱を要因として  
気温上昇し、都市を  
中心に限定。

〈地球温暖化〉は、  
大気中の二酸化  
炭素などの温室  
効果ガスが増える  
ことを要因として  
気温が上昇する  
現象で地球規模。

## (2)【デメリット】

- ① 枝や葉が日陰になる（緑陰効果）  
◇対応 ⇒ 適切な剪定等を行う
- ② 落ち葉がゴミになる  
◇対応 ⇒ 葉を回収し肥料化し資源の有効活用する
- ③ 虫が発生  
◇対応 ⇒ 害虫が発生しにくい樹種を選定・住民と連携して防除
- ④ 鳥類の異常発生  
◇対応 ⇒ ムクドリは季節が終われば移動（3ヶ月程）  
大群を見るのは、夏から秋
- ⑤ 根で歩道が盛り上がる  
◇対応 ⇒ 植え枠を大きくし、根張り空間を確保
- ⑥ イチョウの葉は油分が多く、市電のレール上でつぶれると滑る  
◇対応 ⇒ レールに滑り止めの砂をまく。（毎年約15t）

## 5 街路樹の今後は？

### (1) これから《まちなか街路樹》と、どう向き合うか？

- ① 今ある街路樹を減らさないようにする。【伐採 ⇒ 植え替え】
- ② 街路樹の景観を損なわないようにする。【強剪定に注意】
- ③ 「まちなか街路樹119番」の設置。  
【街路樹に何らかの異変があった場合の連絡・相談窓口として利用】  
〈枝や葉で日陰になっている。また、害虫が発生等の問題及び相談窓口〉
- ④ 専門の知識を持った剪定士の育成。  
〈日本造園建設業協会の「街路樹剪定士認定試験制度の資格取得等〉
- ⑤ このようなことを実行するためには、住民、民間企業、行政等の協力が必要であり、そのためにもパブリックコメントの必要性が重要視される。

《パブリックコメント》  
意見公募手続制度  
行政機関が政策を  
実現するために政令  
や法令を定めようと  
する際、事前に広く  
一般から意見を募り  
その意見を考慮する  
ことにより行政運営  
の公正さの確保と  
透明性の向上を図り  
国民の権利利益の  
保護に役立てること  
を目的としている。  
(行政手続法第6章)

### (2)「SDGs」の視点から(持続可能な開発目標17のゴール)

- ・「持続可能な開発」は「将来世代のニーズを損なわず、現代世代のニーズを満たす開発」のことです。
- ・例えば、今の世代の人たちが満足するためだけに、食物や原材料などの資源を使いつくしてしまったり、自然環境や労働環境、住環境を悪化させると、将来の世代の人たちは困ってしまいます。
- ・持続可能である、〇〇し続けられるためにはどうするか？という長期的な視点が求められます。
- ・そのためには、自治体や企業等だけでなく、私たち一人ひとりに何ができるかを考え、行動に移すことが必要です。

### (3)「カーボンニュートラル」の視点から

- ・「カーボンニュートラル」とは、ライフスタイル全体で見たとき、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量と吸収量とが、プラスマイナスゼロの状態をさします。

- もうひとつは、社会や企業における生産活動において「やもえず出してしまったCO<sub>2</sub>排出分を排出権の購入や植樹などによって相殺し、実質的にゼロの状態にしていかなければなりません。
- しかし、排出量をゼロにすることが難しい分野も多くあります。
- それらを埋め合わせるために「吸收」や「除去」を行うことが必要です。
- 街路樹を増やし守り育てることによって、光合成に使われる大気中のCO<sub>2</sub>の吸収量を増やすことが重要となってきます。
- 世界は、2050年までに、温室効果ガスの排出を、全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指しています。

- 《温室効果ガス》
- 二酸化炭素
  - メタン
  - 一酸化炭素
  - フロンガス
  - 六フッ化硫黄
  - 三フッ化窒素
  - パーカルオロカーボン類

## 6 最後に

- 今回、杜の都チームは「街路樹」をテーマとして取り組んできましたが、これを機会に、さらに地球規模での環境問題等を、私たち一人ひとりが自分の事として捉え、次世代への贈り物を、どうやって作っていくかを真剣に考え、行動に移して行くきっかけになればと願っています。

## 7 参考

### SDGs (Sustainable Development Goals) とは？

- ①持続可能な開発目標
- ②2015年9月に国連会議で採択され、2030年までに達成する世界共通の目標
- ③17の目標(ゴール)があり、それらを達成するための具体的な169のターゲットを示している
- ④目的は「貧困に終止符を打ち、持続可能な未来を追求する」こと
- ⑤「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現を目指す

### 《17の目標(ゴール)》



## 《5つの特徴》

- ① 普遍性 ⇒ 先進国を含め、すべての国が行動
- ② 包摂性 ⇒ 人間の安全保障の理念を反映し「誰ひとり取り残さない」
- ③ 参画性 ⇒ すべてのステークホルダーが役割を
- ④ 統合性 ⇒ 社会・経済・環境に統合的に取組む
- ⑤ 透明性 ⇒ 定期的にフォローアップ

《ステークホルダー》  
企業が経営する上で  
直接的、間接的に  
影響を受ける利害  
関係者

## 【目標11】～住み続けられるまちづくりを

- ① 2030年までに、大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に  
特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の  
悪影響を軽減する。
- ② 2030年までに、女性、子供、高齢者及び障がい者を含め、人々に安全で  
包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを  
提供する。
- ③ 経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の  
良好なつながりを支援する。

《包摂（ほうせつ）》  
一定の範囲の中に  
つつみ込むこと。  
ある概念が、より  
一般的な概念に包  
み込まれること。  
特殊が普遍に従属  
する関係。

## 【目標13】～気候変動に具体的な対策を

- ① 気候変動対策を個別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
- ② 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、  
人的能力及び制度機能を改善する。

## 8 「森」と「社」

### ① 「森」とは

- ・自然のもり
- ・自然にできた樹木の密集地を指す
- ・「森」の語源は「盛り」
- ・「盛り」の意味は、①「本当にたくさんある」と、②「盛り上がったところ」
- ・古くは「山」と「森」は同一視されていた
- ・「山」に必ずしも「樹木」は必要ないが、「森」には「樹木」が必要

### ② 「社」とは

- ・神社のもり
- ・神社などの神域近くの木々のこと
- ・中国古来の読みは「ト」「ズ」「ヤマナシ」
- ・「途絶」は「杜絶」の代用表記～「(門などを)とざす・とじる」という意味
- ・「ヤマナシ」は中国を原産とする「梨」にこと
- ・神社は周りから杜絶されたところだから、神社の木立を「社」と表す  
ようになった。
- ・「もり」は神の来訪する所と考えられて、「神社」「社」と表記され、  
これを誤って「社」に「もり」の訓読みが生じた

- ・「杜(もり)」は日本独自の読み方で、国訓と呼ばれる
- ・「国訓」とは、漢字本来の意味と一致しない日本独自の読み

### ③「杜の都」仙台

- ・江戸時代、仙台藩主の伊達政宗公は、家臣たちに、屋敷内には飢餓に備えて柿や梅などの実のなる木や竹を植えるよう奨めた。
- ・広瀬川や青葉山の緑がこうして一体になり、仙台のまち全体が緑に包まれた。
- ・この「まち全体が緑に包まれる姿」「森の都」として明治42年に観光案内書に記され、昭和に入ってからは「杜の都」と表された。
- ・山などに自然に生えている樹木や草花だけでなく、その町の人々が手をかけて育ててきた豊かな緑を指す。
- ・「森」が持つ「自然にできた樹木」という意味の否定のために「杜の都」と表すようになった。

ありがとうだモン



